

平成25年度 第1回
キャリアパス講演会&相談会

要旨集

日時：平成25年7月22日(月) 15:00～

場所：講演会 理学部3号館11番教室

相談会 理学部2号館第一会議室

キャリアパス講演会&相談会

理学部 基礎化学科
理工学研究科 基礎化学コース

日時：平成 25 年 7 月 22 日(月) 15:00～

場所：講演会 理学部 3 号館 11 番教室、相談会 理学部 2 号館第一会議室

【講演会】 15:00～17:00

(1) 菅谷 知明 氏 (2009 年博士修了、永澤・藤原研)
早稲田大学 理工学術院 助教
「企業の研究開発職とアカデミックポジションを
経験して」

(2) 坂下 雅弘 氏 (2009 年修士修了、石井研)
日立化成株式会社 勤務
「大学時代の経験と今働いていて思うこと」

【懇談会】 17:00～19:00

企業の研究開発職とアカデミックポジションを経験して

菅谷 知明

要旨

皆さんは、大学を卒業、あるいは大学院を修了した後の将来像についてどの様に考えていますか？キャリアパスは、人によって全く異なりますし、その人の人生における優先順位（仕事・家庭 etc.）によっても大きく異なります。

私は、学部生時代は漠然と研究職に就きたいと思い、錯体化学の研究室（永澤・藤原研究室）に所属し、修士課程に進学しました。修士課程では、博士課程への興味も持ちつつも、非鉄金属会社の研究職として就職しました。会社では、電子材料の基礎研究に近い研究と製品開発に直結した業務に従事しましたが、もっと専門的知識を身につけて研究に取り組みたいという思いが強くなり、もう一度学生に戻って博士課程に進学することを決断しました。博士課程では、3年半かかりましたが、学位を取得することができました。博士課程後は、埼玉大学、東京理科大学で博士研究員として3年半働き、現在は早稲田大学の助教として働いています。一般的な理系学生のキャリアパスとしては、企業への就職か大学等での研究職のどちらか一方ですので、両方経験するというのは珍しいキャリアパスだと思います。アカデミックポジションで働く人間としては遠回りな歩みかもしれませんが、会社時代の経験は現在の自分に広い視野を与えてくれたと思います。

本講演では、自分の取り組んできた研究紹介と、それぞれの職種での考え方の違いや、進路を決定する上でのきっかけなどをお話ししようと考えています。私の場合、人との出会いや後押しが進路に大きな影響を与えていたなと思っています。皆さんも色々な世代の人との出会って下さい。そうすることで、自分の考え方に“幅”を与えてくれると思います。

私の話が皆さんのキャリア形成の一助になれば幸いです。

大学時代の経験と今働いていて思うこと

坂下 雅弘

要旨

私は大学院を修了し、日立化成株式会社に入社し今年で5年目になります。社会での経験はまだ浅いですが、これまでの経験と今働いていて思うこと、についてお話しします。

本講演では、3つのテーマに分けてお話しします。

1. 大学・研究室での生活
2. 就職活動
3. 日立化成での仕事

今になってみると、学生だった頃の自分が今の自分をイメージできてはいませんでした。しかしながら、過去のさまざまな選択を経て、今があることは紛れもない事実です。

私の経験が、みなさんがこれからの進路を考える上で少しでもお役に立てれば幸いです。